

青年協ニュース

全国の取組みやチラシ・ニュース等をお寄せください！

FAX：03-3875-6270 か seinen@irouren.or.jp まで

青年協のブログ (<http://irouren.cocolog-nifty.com/seinen/>) もよろしく！

5・27～28、広島に集り、平和学ぼう！

— 青年協学習交流集会の開催要項でました —

さて、毎年100名を超える参加で恒例の「学習交流集会」は、これまでもお伝えしたとおり、憲法や平和をめぐる情勢が緊迫するなかで、「被爆や戦争の実相を学び、今後の平和運動をすすめていこう！」とヒロシマで、平和学習を中心として行うことになりました。

会場は、広島平和記念資料館の地下1F・メモリアルホールです。宿泊するホテルは、レストランから広島の平和公園が一望できる「ホテルサンルート広島」。被爆体験者のお話から、「ピースナビゲーター」による碑めぐり、オプションで「被爆電車に乗って学ぶ」コースもあります。（詳細は、医労連発文書を参照。また今後送付するチラシを活用してください）



第16回平和ツアーの要綱決まる！

— 4泊5日で、南京～上海をめぐる平和の旅 —

ことしの「平和ツアー」の要綱が確定しました。6月21日から25日まで、平和ツアーとしては初の海外「平和ツアーin 南京」を行います。5日間となかなか休みが厳しいかと思いますが、青年のみなさんの積極的な参加を呼びかけます。（成田、名古屋、関空、福岡より出発）

このツアーは、日本医労連の平和活動と南京看護協会との相互交流を促進するもので、中国の古都・南京市を訪問し、南京虐殺記念館の視察と世界遺産や戦跡めぐり、南京市内の5つの病院を視察し、南京看護協会との交流を計画しています。

これまで日本医労連は、過去14回の「平和ツアーin 沖縄」、昨年は「平和ツアーin 長野」を行いました。今回は、初めて訪問先を隣国・中国に設定し、日本とアジア・世界の平和を守る大切さや、日本国憲法9条の役割などを考えるよい機会となります。詳しい要綱は、医労連ホームページを参照ください。（<http://www.irouren.or.jp/>）

やっぱり仲間っていいよね～！

—兵庫労連青年部がスキーツアー—

2月17～19日、兵庫労連青年部は恒例のスキーツアーを行いました。

2月17日、仕事を終え、午後8時に湊川神社正門前に集合。今年は医労連から15名（うち民医労4名）が参加し、全体で40数名の参加で、バスに乗り込む際は席が足りるのかとひやひやしながらも皆が無事に着席し30分には目的地、富山県へ向け出発しました。



バスでは太田さん始めスタッフ方の案内を聞き、自己紹介を終えると徐々に寒くなるSAの気温に、逸る気持ちを抑えつつ消灯となりました・・・宿泊場所となるロッジ雷鳥に到着したのは日が変わって午前2時と意外に早く、各々決まった部屋へ向かい本格的な就寝となりました。とえど、完全に皆が寝たのは4時か5時頃??

18日（土）快晴、各自起床 朝食を済ませロッジすぐ隣のゲレンデ前に集合したのは9時くらいでしょうか。怪我をせぬよう注意事項を聞き、準備体操を済ませツアー参加を示すりボンを付け集合写真を撮って、いざ滑走へ！仲良しグループに分かれ方々に散って行きました。が、高い笑い声や叫び声が山のあちらこちらから聞こえて来たように感じました。昼過ぎには北海道ACTで知り合った富山県民2名も現地参加してくれました。

夕方5時にリフトが止まり、ロッジへ帰れば立山温泉の湯でゆっくりホッコリした後は待ちに待った夕食 交流会へと進んで行きました。今まで人見知りで硬くなっていた人も、お酒が入ると笑顔でゲームに参加し、クイズを通じて会話も弾んでいました。また自然と班員が役割分担し、これぞ青年部だ！と感動いたしました。

交流会が終わると、あとはずーっと自由。それぞれが日頃の鬱憤を晴らすべく飲み、語り、寝て休暇を満喫した事でしょう。僕の隣では若者が涙ながらに熱い思いを語っており、少し大人になってしまった自分の初心を思い出しました。

19日、遅くまで してた者は別として、滑る者は早く起き各自ゲレンデへ向かいました。寝不足ながらこの日も快晴で気持ち良く、帰る時間の12時はあっという間に来てしまいました。泣く泣く帰り支度をし、富山県民2人の見送りを受けて帰路へ着きました。

富山のきれいな空気、山頂から見た広大な自然には本当に感動！。あと今回知り合った仲間、企画を練り面倒を見て下さった方々への感謝の気持ちは忘れられないものになりました。改めて今後も頑張ろう！といった気持ちになったスキーツアーでした。（兵庫県医労連青年部書記次長・廣中啓人）

全国各地の取り組みをお知らせください

とりわけ新人歓迎会の情報をお待ちしています！